

やっ種！ハッピーオイル大作戦

今年の大岡の時間の話をすると、「できないことに挑戦しながら、みんなで協力できることをやりたい」「色々な仲間を増やしていきたい」「まちの人に喜んでもらえることをしたい」という思いを強くもっていました。それらの話する中で、理科の季節の変化を見ていく学習で、何を育て観察するか決めるときに「種」の話題で盛り上がった4年2組の子どもたち。「種で色々な実験をしたい」「種でものづくりができるかもしれない」と多くの子が興味をもち始めました。調べた一つに「菜の花の種」があり、「色々な油を作って、4の2手作り油を作りたい」「作った油をまちの人にあげたら喜ぶかも」と、1年かけて様々な油作りをみんなですることになりました。



しかし、油搾りは悪戦苦闘の日々でした。初めてできあがった油は「なんだかぼくたちの油は水っぽい」「粉の油ができあがった」と、全然油ではないものでした。原因は水の量ではないか、蒸したり加熱したりする時間に上手くいかない原因あるのではないか、搾り方がポイントではないか…と、トライ&エラーをくり返し、少しずつ売っている油に近づき始めました。

油搾りを通して、みんなで協力することの大切さを改めて感じていました。また、前回の上手くいかなかったことを手順に沿って整理する力や原因と改善点を結び付けて見つけていく思考が少しずつ身についているように感じます。これからどんな種類の種から油が搾れるか楽しみです。